

第41回 整備部会

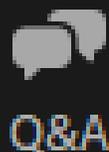
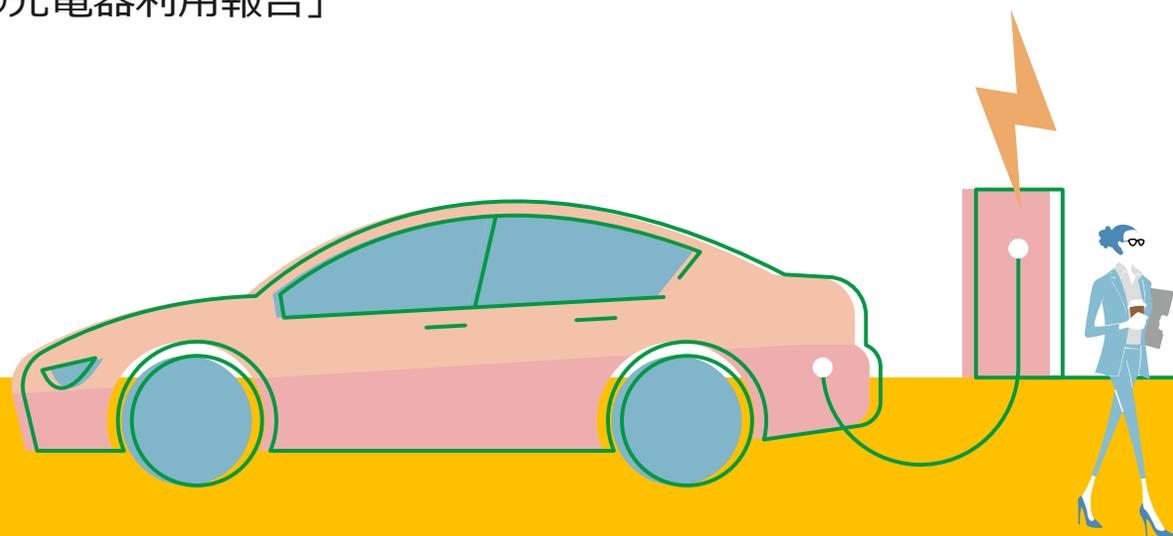
2025年 3月3日



プログラム

1. 14:00～14:10 ご挨拶
CHAdeMO協議会 会長 姉川 尚史
2. 14:10～14:30 「150kW 級のBEV 充電時におけるEMC 試験の検討」
トヨタ自動車 電子性能開発部 森 晃 様
3. 14:30～14:50 「直流マイクログリッド適用に向けた多並列EV 向け分散協調制御の開発」
トヨタ自動車 パワートレーン先行製品開発部 杉本 和大 様
4. 14:50～15:10 “2025 update on OCA and OCPP”
OCA(Elaad) ロネケ・ドリーゼン (Lonneke Driesen) 様
5. 15:10～15:30 「東光高岳における次世代超急速(高電圧化)充電器の開発について」
株式会社東光高岳 G Xソリューション事業本部副本部長 兼 システムソリューション開発部長 丸山 元樹 様
6. 15:30～15:50 「欧州EV 充電紀行：初心者ユーザーの充電器利用報告」
CHAdeMO協議会 欧州事務局 Tomoko Blech
7. 15:50～16:00 「海外の充電器見て歩き」
CHAdeMO協議会 事務局 箱守 知己
8. 16:00～16:20 活動報告
CHAdeMO協議会 事務局 事務局長 荒井 一真

お願い： ご質問は**Q&Aボタン**から入力お願いします。



2024年度下期活動報告

2025年3月3日



CHAdeMOテストセンターアップデート

東陽テクニカ

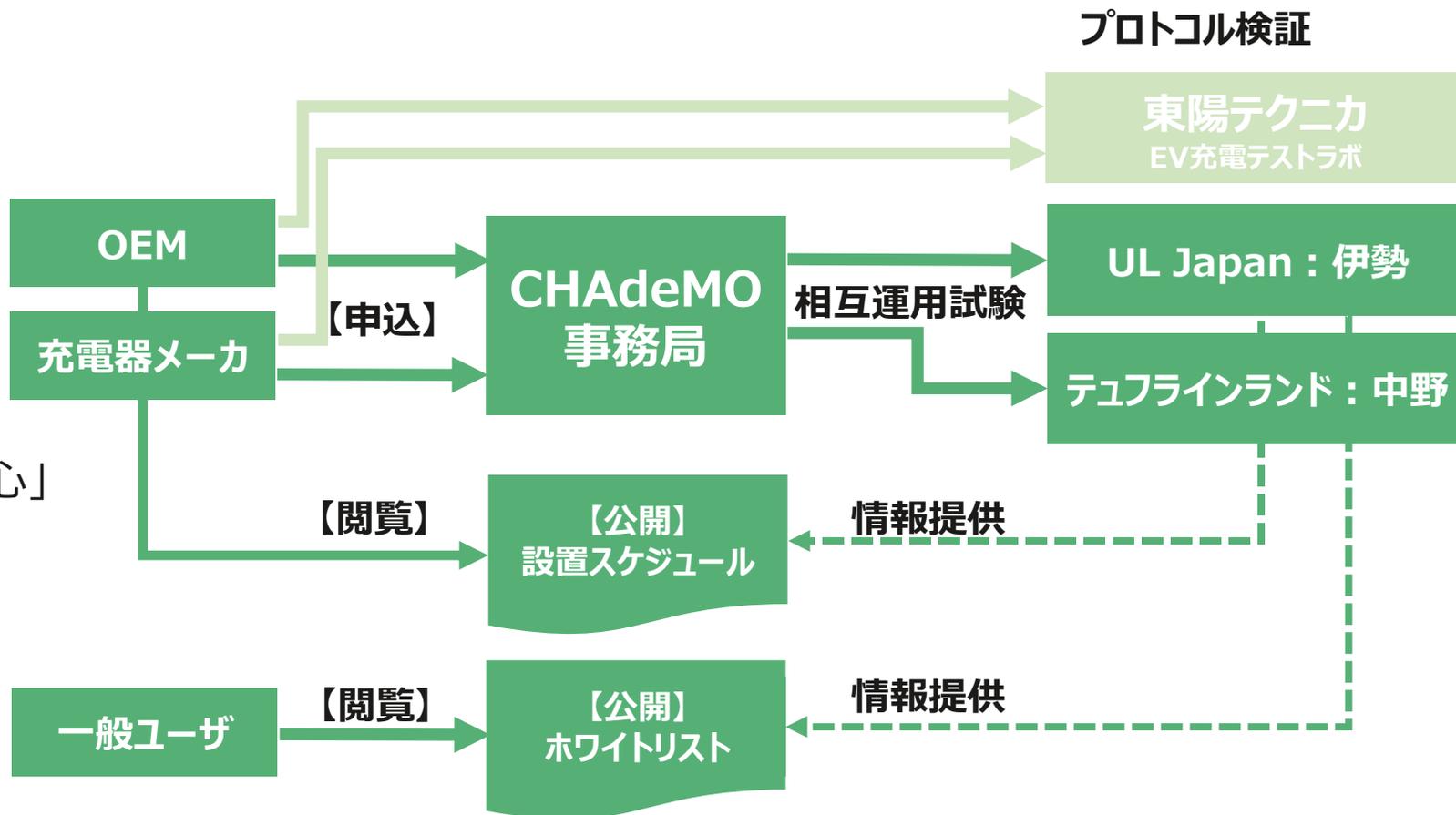
- ・シミュレーターによる開発支援
 プロトコル検証など
- ・車両、充電器ともに試験可能

UL伊勢

- ・市場に数多くある充電器を設置（市場の約70%をカバー）
 ⇒「ここで確認出来れば日本市場はほぼ安心」
- ・基本的には車両の試験を行う

TUV長野（中野）

- ・500kVAの電源を設置
- ・高電圧・高出力の充電器
- ・新規充電器、市場にあまりない充電器
- ・V2H
- ・充電器の試験も可能（EVを用意済み）



高電圧対応充電器導入へ規制緩和

➤ 電技解釈改定による出力電圧、一般/自家用電気工作物の関係

	出力電圧	日本向け充電器への要求	2024年10月改定後
Ver 1系	50～500V 150～500V	出力電圧を450Vに制限	一般用電気工作物：450Vまで 自家用電気工作物：500Vまで
Ver 2系	50～500V 150～500V 150V～1000V	出力電圧を450Vに制限	一般用電気工作物：450Vまで 自家用電気工作物：1,000Vまで

- ・一般用電気工作物の出力電圧は450Vまで
- ・自家用電気工作物の出力電圧はVer1.0系：500V、Ver2.0系：1000Vまで

詳細は仕様書の次回アップデートに記載する予定

EPAC向けシステムの商標について(国内出願)



欧州メンバーからの要望を受け、EPAC CHAdeMOの製品名として、以下の2つの商標登録を進捗中です。

Charge2Bike C2Bike

商標名	国内出願	国内登録査定	登録年数	指定の商品と役務
Charge2Bike	2024/06/24	2024/01/09	10年間	第9類 (充電器及びバッテリー 他)
C2Bike				第39類(電気の供給、及び、 電気供給に関するサービス)

国内での商標登録は無事に完了しました。

EPAC向けシステムの商標について(海外出願)



国内での商標出願を元に優先権を主張する形で、国際登録出願（マドプロ）を行いました。

Charge2Bike C2Bike

商標名	マドプロ出願日
Charge2Bike	2025/01/23
C2Bike	

現在、登録審査中です。

出願国					
EM (欧州連合28 か国)	CH(スイス)	GB(イギリス)	USA(アメリカ)	CA(カナダ)	CN(中国)

EPAC CHAdeMOの採用が期待される、EU国に加え、北米と、中国（違法コピーの防止）に出願中です。

プラグ&チャージTG発足

背景

- ・経産省「充電インフラ整備促進に向けた指針」
プラグ & チャージを実装するためには、車両情報のデータに関するOEM と充電事業者間の取り決めが必要である。したがって、CHAdeMO 協議会が中心となり、充電事業者や OEM 等の意見を取り入れたガイドラインの作成を行う。
- ・CHAdeMO協議会 新プロトコルSWGでは、欧州AFIR対応のプラグ & チャージ（ISO 15118）の標準化を進捗中
- ・仕様書WGにおいて複数のプラグ & チャージが提案されている

これからの進め方

- ・仕様書WGとは分離したTGとして活動する
プラグ&チャージTG（仮）を発足する
- ・近々、キックオフミーティングを開催
- ・全会員から参加者を募集
開催日程決定後、メンバー募集の案内を出します

充電器認証が活発化

- 認証書発行数: **45件** (2024年4月1日から2月末まで)
1通の認証書に複数台の充電器シリーズを含むものもあるので、台数総計はこれより多い。
OEM供給充電器は含んでいないので、充電器の総数はこれよりかなり多い。
- うち、V2H充電器: 9台
オムロン ソーシアルソリューションズ、ダイヤゼブラ電機、住友電工、ニチコン、オリジン等
- 認証書交付社のうち、海外メーカーに発行したもの: 26通
- 認証書発行件数の推移
 - 2019年度: 16件
 - 2020年度: 16件
 - 2021年度: 13件
 - 2022年度: 21件
 - 2023年度: 31件



CHAdeMO

広報・渉外活動報告

前回整備部会（2024/10/28）以降



CHAdeMO

渉外・広報活動報告（1）

2024年10月28日 前回整備部会以降

- ・ 11月7日 日中省エネ・環境総合F代表団 伊勢テストセンタ見学対応 [荒井]
- ・ 11月9日 日中省エネルギー・環境総合フォーラムにて発表 [姉川、荒井]
- ・ 12月8～11日 マレーシア UiTM訪問&打合せ、UiTM機械工学部との会合、ペトロナス・ジェンタリ(ペトロナスの電動車・充電関連会社)打合せ [荒井、箱守]



渉外・広報活動報告（2）

2024年10月28日 前回整備部会以降

- ・ 1月27～29日 UAE アブダビ統合交通局 交通ワークショップでのプレゼンテーション [姉川会長]
- ・ 2月26～27日 タイ・バンコク EV Charge Live 2025 プレゼン&パネル参加, EGAT訪問 [姉川会長, 荒井事務局長]
- ・ 2月27～3月1日 UiTM打合せ [姉川会長, 荒井事務局長]
- ・ 2月27日 R6(2024)年度 JICA 省エネルギー研修 対象国:パキスタン,トルコ,南アほか「EVの充電方式～世界の充電規格と今後の展望」[箱守]
- ・ 3月3日 2024年度 第2回整備部会

今後の予定

- ・ 3月4日 OCA-CHAdeMOインダストリアルWS [事務局]
- ・ 日程調整中 中国 広州代表団(含・広州汽車集団)来訪対応 [事務局]

【参考・明日】OCA—CHAdemo Industrial Workshop

日時： 2025年3月4日（火）午後2～4時

場所： 水道橋 全水道会館

中会議室（+ Zoom Webinar：ハイブリッド開催）

発表：OCA ELAAD, Lonneke Driessen氏

「OCPPの現状と展望、OCPP日本語版の進捗など（仮）」



【参考・開催済】EV Charge LIVE 2025 in Thailand について

概要: FMA (Future Mobility Asia、チャデモは2023年にパネルに参加) に次ぐ規模のイベント。

今回からeモビリティと充電 (EV Charge LIVE) に特化。内燃車や太陽光等再エネは同時開催のイベント (Roads & Traffic EXPO, Solar & Storage LIVE) に分離。

参加企業団体 60以上。参加者予想 3,000人以上。

参加予定: Daimler, TOYOTA, BMW Group, BYD, Nissan, BOSCH, SIEMENS, KEYSIGHT, NEC, NTT DATA, ABB, EGAT, TEPCO, Tenaga Nasional, Exxon Mobil, SHELL など

日程: 2025年2月26・27日 (水・木)

会場: タイ王国バンコク市

BITEC (タイでのモーターショーが毎回開かれる会場)



ありがとうございました

ご意見・ご質問は info@chademo.org までお願いします。

